

「僕ら子どもたちは営林署員になりたいからじゃなくて、子どもたちの未来のために木を植えています。」
メリク、11才。

「蚊一匹はサイ一頭に勝つことができないけど、蚊千匹ならサイの方向を変えることができる。」
ユーレ、13才。

「どうして大人たちは二酸化炭素を地下に送り込みたいの
だろう？何百万年も木々はCO2を保存しているのに。私たち
は木々を植えるべき。」
アリーナ、11才。

「子どもたちが地球中に木を植えたら、地球中が家族のよう
になります。それでは僕たちは強くなります！」
フェリックス、12才。

ご参加はかんたんです。

- 当ウェブサイトでああなたのご近所のワークショップに申し込んでください。
- あなたの街の子どもたちのために一緒にワークショップを立ち上げましょう。
- あなたも国際学生運動に参加してください。
- 月額25ユーロで「プラント・フォー・ザ・プラネット」の代表を後援してください。
- 木を寄附してください。10ユーロの寄付で私達はナミビア、コスタリカ、コンゴ、エクアドル、マレーシアのパートナーNGOと一緒に木10本を植樹します。10ユーロで植えることとなります。寄付金領収書と木の植えた場所の証明書を発行いたします。
- 貴社も「プラント・フォー・ザ・プラネット」を支援してくださいませんか？

詳しくは「木には木」を読んでください。



エジェンちゃん(ハイチ)とマータイ・ワンガリさん(ケニヤ)



マイケン(ボツワナ)とモナコ大公アルベール2世公



www.plant-for-the-planet.org
www.facebook.com/plantfortheplanet

Plant-for-the-Planet Foundation
Lindemannstr. 13
82327 Tutzing, Germany
メール: info@plant-for-the-planet.org
電話番号: +49 (0)8808 9345

銀行口座名前:
Plant-for-the-Planet
銀行番号: 212 0000 212
口座番号: 251 205 10 Sozialbank
BIC BFSWDE33HAN
IBAN DE12 2512 0510 212 0000 212



STOP TALKING START PLANTING

天人が議論をしているあいだに私たちが木を植えています。



2009年12月9日、日首相府前



2011年5月7日、メキシコのカンクンで未来のためのデモする子供たち。

地球上のどの国にも
100万本の木を植え
ましょう！

さあ、僕ら子どもたちが
地球を助けるぞ！

国際学生運動は気候正義を主張しています。

子どもたちも未来が欲しい。

「未来」と言うことは大人たちだと20や30年間の意味になるけど、子どもたちにとっては80や90年間になります。年長の人達にとっては海面が1、2や3メートル上昇していくという研究上の問題ではありません。でも子どもたちにとっては生き残るの課題です。」
マックス、12才。

おしゃべりだけは氷河溶解を止められない!

「プラント・フォー・ザ・プラネット」の国際学生運動は2007年に創始され、当時9才のフェリックス君の気候危機についての宿題から始まりました。調べている間に30年間に木300万本を植えたエコロジストとノーベル平和賞者であるケニヤ人のマータイ・ワンガリさんを見つけました。フェリックス君は発表の終わりに、子どもたちが世界中の国々に木百万本を植えようという将来のビジョンを紹介しました。

木一本は枯れるまでに二酸化炭素(CO2)3トンを吸収してくれます。木一本ずつは気候正義のシンボルとなります。

個々が貢献し、地球家族として地球中の問題を解くことが出来ます。

地球家族として、私たちは気候正義のために木を植えている。



少ない量のCO2を排出する国の人々が地球温暖化に苦しんでいることは公平ではありません。アメリカ人の1人当たり年間に20トンのCO2、ヨーロッパ人の1人当たり10トン、中国人の一人が4トンとアフリカ人の一人は0.5トン以下を気海に排出しています。それは世界の各人に4トンの平均となります。

地球温暖化が気温を2度以上上げないために、人間が2050年まで6000億だけのCO2しか出せません。

私たちは何を要求しますか?すること:

1. 炭素は博物館の展示品になった方がいいでしょう。将来のためにCO2を貯めないための技術はもうあるのですから。
2. 地球上にある6000億トンあるCO2を地球のみんなに分けましょう。そうしたら、一人当たり1.5トンのCO2を負担することになります。もっと排出したい人はお金を払わなければなりません。
3. よりたくさんの炭素を保存するため、たくさんの木を植えましょう。

「プラント・フォー・ザ・プラネット」のワークショップとは?

私達のワークショップでは気候危機、公平な配分、そして地球市民について教えていて、子どもたちを気候正義の代表になるための教育します。他の子どもたちも参加するようにプラントパーティーを企画したりと発表などをします。一人一人が責任を負って、将来を共に作り上げることが出来ます!



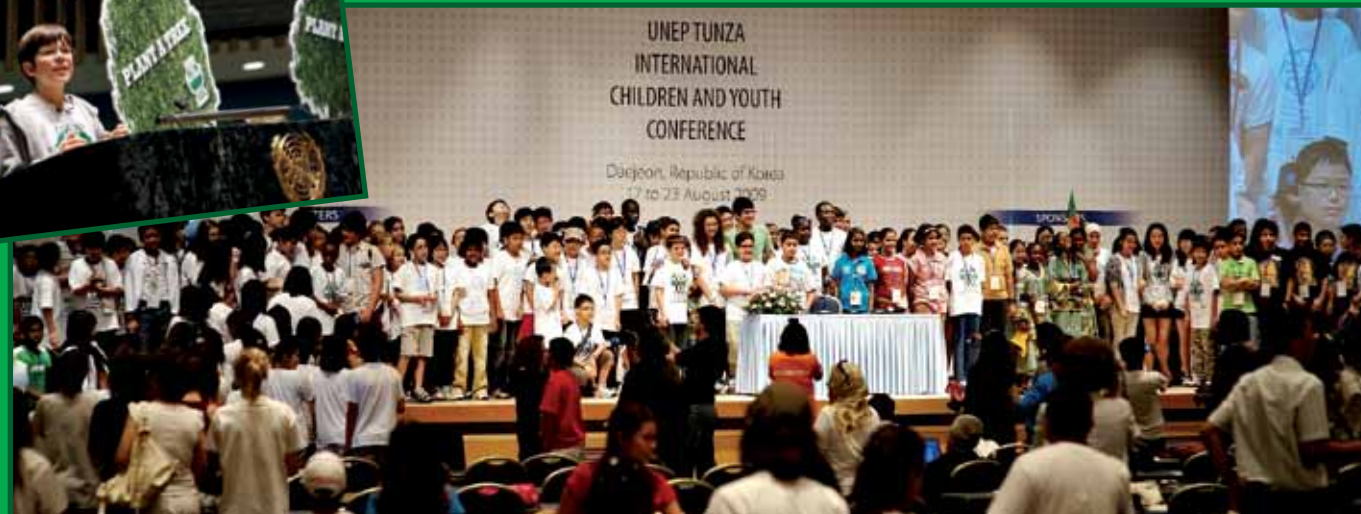
「プラント・フォー・ザ・プラネット」の財団とは?

「プラント・フォー・ザ・プラネット」の財団では、子どもたちが決定権をもっています。子ども会は決定し、子供議会が決定し、大人たちがサポートしています。私たちはもう世界中の70カ国の子どもたちと一緒に活動しています。2020年までに2万のアカデミーにおいて、気候正義の代表となるの10万人を教育するのが目標です。世界人地球市民たちの大きなネットワークとして、一緒に頑張らしましょう!



一緒に計画して、木を植えよう!

2011年2月2日、国際連合、ニューヨークで「国際森年」の開場。



2009年8月20日、韓国。「100万本の木を植えたい人たちはステージに上がってください!」